

伊豆諸島三宅島における在来甘しょの収集

片山健二¹⁾・野地喜徳²⁾・土生昶毅²⁾

1) 農業研究センター・作物開発部・甘しょ育種研究室

2) 東京都農業試験場・三宅島園芸技術センター

Collection of Sweet Potato in Miyake Island of Izu Islands

Kenji KATAYAMA¹⁾, Yoshinori NOJI²⁾ and Nobutake HABU²⁾

1) *Laboratory of Sweet Center Potato Breeding, Department of Crop Breeding, National Agriculture Reserch, Tsukuba, Ibaraki 305, Japan*

2) *Miyake Island Horticultural Research Center, Tokyo Agricultural Experiment Station, Miyake, Tokyo 100-12, Japan*

Summary

We explored for local cultivars of sweet potato in Miyake island of the Izu islands from September 9 to 11, 1996. A total of 14 samples were collected. Sweet potatoes on this island are cultivated for personal use, for food processing and for animal feed by farmers, who are usually aged.

KEY WORDS : Sweet potato, Miyake island, Izu islands

1. 目的

甘しょは17世紀始めに中国から沖縄へ最初に伝来したといわれている。その後、鹿児島や長崎を経て日本各地へ伝わり栽培されるようになった。甘しょは台風や干ばつ、あるいは病虫害などによる凶作の救荒作物として優れていたため、江戸時代の享保年間に青木昆陽により関東地方にも栽培の普及が進められた。伊豆七島には、この頃昆陽により甘しょが導入された。その後明治の初めにも新たな品種が導入され、それらが在来品種として定着してきたとみられている。

ここまでジーンバンク事業等による甘しょ在来品種の調査・収集が、南西諸島、奄美群島から九州、及び四国において行われてきたが、関東地方の島嶼地域（伊豆諸島等）においては行われていなかった。これらの地域は過疎化と農家の高齢化が進んでおり、在来品種の消滅が懸念されていることから、早急に調査・収集を行う必要がある。そこで、今回は伊豆諸島の三宅島において在来品種の調査・収集を行った。

2. 経過

調査・収集は、1996年9月9～11日にかけて行った。事前の情報収集により甘しょの栽培が最も多いとみられた坪田地区を中心に、島内の主な栽培地域を一周して調査した。島内の調査により7点を収集するとともに、三宅島園芸技術センターが八丈島園芸技術センターから譲り受けて保存していた遺伝資源から7点の分譲を受けた。

3. 収集結果

収集した地区を Fig. 1 に示す。また収集した遺伝資源の収集時の特性と収集場所を Table 1 に示す。今回調査した三宅島では、市場販売用に大面積で栽培しているところはなく、自家消費用の食用いもや飼料用として、サトイモやアシタバ等の他の作物と同じ畑で栽培されており、甘しょ単一の畑も小さい区画が多かった。事前の情報収集では、「てるこ」と呼ばれる焼耐用の品種と「おつる」と呼ばれる食品加工用の品種が昔から島内で栽培されてきたが、「てるこ」は数年前に焼酎生産が中止になって以来栽培されなくなったということで、今回の調査でも「てるこ」を見つけることはできなかった。一方、「おつる」は蒸した後つぶして練り、型をつけて屋外で干した「いももち」と呼ばれる三宅島特有の加工食品の原料として、現在も栽培されていた。ほとんどの畑では、この「おつる」とみられる品種と青果用としての「ベニアズマ」や「高系14号」が並んで栽培されていた。

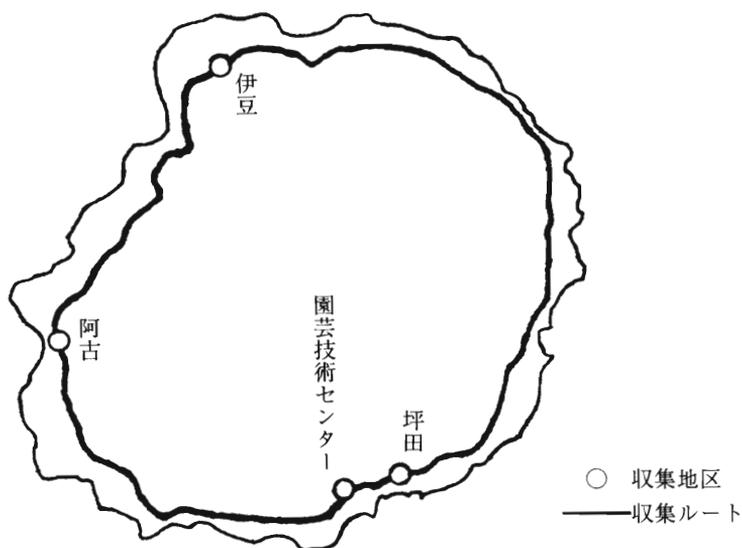


Fig 1 Sites and route of collection
収集地区および収集ルート

4. 所感

今回調査した三宅島では甘しょ栽培農家のほとんどは高齢者であり、将来これらの人々の栽培放棄により在来品種が消失する恐れが大きい。また最近の育成品種である「ベニアズマ」等が、食味の良さから在来品種に置き換わる傾向がみられた。特に島の在来品種の一つであった「てるこ」が数年前から栽培されずに消失し、今回収集できなかったことは残念であった。こうした状況は他の島でも同様であるとみられることから、早急にこれら島嶼地域における甘しょ在来品種の調査・収集を行う必要があると考えられる。

最後に今回の収集に協力いただいた東京都農業試験場の関係者、及び調査・植物体の採取を許可下さった農家の方々に心より御礼申し上げます。

5. 引用文献

- 1) 小林仁 (1984) サツマイモのきた道. 古今書院
- 2) 樽本勲・石川博美 (1989) 沖縄県離島の在来甘しょの収集. 植物遺伝資源探索導入調査報告書 (農業生物資源研究所編) 5 : 47~49.
- 3) 片山健二・石川博美 (1990) 沖縄県離島の在来甘しょの収集. 植物遺伝資源探索導入調査報告書 (農業生物資源研究所編) 6 : 31~40.
- 4) 吉永優・小巻克巳・日高操 (1990) 奄美群島における在来甘しょの収集. 植物遺伝資源探索導入調査報告書 (農業生物資源研究所編) 6 : 87~92.
- 5) 小巻克巳・松本満夫・竹之内篤・岩城篤哉 (1994) 四国の山間・島嶼の在来甘しょの収集. 植物遺伝資源探索導入調査報告書 (農業生物資源研究所編) 10 : 25~28.

Table 1 A list of sweet potato germplasm collected in Miyake island.

三宅島で収集された甘しょ遺伝資源の収集時の特性記録表

収集者：片山健二，野地喜徳，土生和毅

収集年月日：1996. 9. 10

収集番号	品種名	収集場所	用途	草型	卷つる性	茎色	節色	頂葉色	葉脈色	蜜腺色	葉脚色	葉型	いもの皮色	いもの肉色	その他
MY96- 1	おつる	阿古 薄木	もち用	中	無	中	少	黄緑	無	微	微	1	白黄	白黄	葉色緑
- 2	コガネセンガン?	坪田 水溜り		中	無	微	多	緑	やや多	多	多	5	白黄	白黄	
- 3	隼人蒔?	坪田 水溜り		やや匍匐	無	多	多	黄緑	やや多	多	多	4	紅	黄白 カロチンやや少	
- 4	おつる?	坪田 田村方		中	無	中	少	黄緑	無	無	微	2	白黄	白黄	
- 5	おつる	坪田 釜方	もち用	中	無	中	やや少	淡緑	無	無	微	5	白黄	白黄	葉柄紫
- 6		伊豆 西原		中	無	無	中	淡緑	やや多	多	多	4	—	—	
- 7		阿古 薄木		中	無	無	無	淡緑	無	無	やや少	2	赤紫	白黄	
- 8	青ヶ島	園芸技術センター		中	無	中	中	濃緑	中	多	多	4	白黄	白黄	
- 9	ムラサキカンモ	園芸技術センター		中	無	多	多	淡紫	多	多	多	3	赤紫	白黄 ウン少	
-10	沖縄ムラサキ	園芸技術センター		中	無	多	多	淡紫	微	微	多	7	白	白黄 ウンやや少	
-11	へいぞう	園芸技術センター		匍匐	無	無	無	淡褐	無	無	無	6	淡紅	白黄	
-12	赤ほそづる	園芸技術センター		匍匐	無	微	少	紫	無	無	少	5	淡紅	白	
-13	アメリカ人参	園芸技術センター		中	無	無	無	紫	無	無	無	1	橙	淡黄 カロチン少	
-14	花サツマ	園芸技術センター		やや立	無	無	無	緑	無	無	無	1	白黄	黄白 カロチン微	開花多

注) 茎色，節色，葉脈色，蜜腺色，葉脚色；紫又は褐に着色している程度を表す。

葉型；1：心臟形，2：波・齒状心臟形，3：三角形，4：波・齒状三角形，5：単欠刻浅裂，6：波・齒状単欠刻浅裂，7：単欠刻深裂